

第2次試験（論文）

上級 論文試験課題（行政・教育事務・警察事務）

大分県の人口は、1955（昭和30）年に約128万人でピークを迎え、2020（令和2）年には約112万人まで減少しています。

国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、人口減少は今後さらに加速し、2045（令和27）年には約90万人まで減少するとされています。

このような人口減少が本県に与える影響を挙げ、県として、どのような施策に取り組むべきか、あなたの考えを述べなさい。